

平成 29 年 12 月 1 日

厚生労働大臣
加藤 勝 信 様



全国社会福祉法人経営者協議会
会 長 磯 彰 格

平成 30 年度介護報酬改定に対する要望

平成 30 年度介護報酬改定は診療報酬との同時改定であり、かつ、医療計画、介護保険事業計画の見直しとも重なり、いわゆる 2025 年問題を目前に控え、地域包括ケアシステムの基盤形成や医療・介護の連携において、また、将来の我が国の社会保障・社会福祉の方向性を示すうえで、極めて重要な改定であるという基本認識のもと、以下のとおり要望をいたします。

1. 安定的かつ良質なサービスの向上に資する介護報酬単価の引き上げ

- 地域包括ケアシステムの拠点となる特別養護老人ホームにおいては、平成 29 年度介護事業経営実態調査の結果、
 - ① 収支差率は改定前の 8.7% から 1.6% と大幅に低下
 - ② 4 割を超える施設が赤字
 - ③ 収入に対する給与費の割合は平成 26 年度より 2% 上昇
- また、内部留保の判断基準となった社会福祉充実残額を有する法人は 1 割未満

2. 介護福祉人材の確保・定着に資する施策の拡充・展開

- 地域で介護サービスを担う人材の確保・定着に資するものとして、またサービスの質の担保を図るため、介護職員処遇改善加算の対象職種の拡大、法人の裁量を認めていただきたい。
- 介護未経験者への入門的研修の充実、働き方改革の一環として、福祉に特化した副業の推奨と、その指導者として中核的な役割を担う介護福祉士に対する報酬上の評価を講じていただきたい。

3. 特別養護老人ホームにおける看取り介護や医療的ケアを推進する施策の拡充・展開

- 中重度要介護者の介護や日常生活を支えるにあたり、看取り介護や医療的ケアへの積極的な対応を促進するため、以下について要望をいたします。
 - (1) 配置医のオンコール体制などの看取り介護体制の整備に向けた報酬上の評価
 - (2) 入院中のベッド確保期間の弾力化、早期退院患者の受け入れに対する評価
 - (3) 認知症ケアの推進に向けた精神科医療との連携促進
 - (4) 喀痰吸引等の医行為に対する報酬上の評価
 - たん吸引等が必要な者の数の割合が高い区分の設定、頻度に応じた加算の新設
 - 看護師や喀痰吸引等研修修了者、介護福祉士の配置に対する報酬上の評価